

■鈴木三重吉 童話作家，文化運動家。{赤い鳥}を創刊・主宰し，児童文学を開拓・主導して，早世した。

すずきみえきち

新体詩抄・・1882＝ 広島県猿楽町(広島市)で，鈴木悦二・ふさの三男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 7歳：本川小学校に入学。

足尾鉋毒始・1891＝ 9歳：母が死去，

郡司千島探検1893＝11歳：第一高等小学校に入学。

日清戦争始・1894＝12歳：

白馬会・・・1896＝14歳：広島県広島尋常中学校に入学し，

八幡製鉄始・1897＝15歳：{少年倶楽部}に「亡母を慕ふ」，

Bushidou・・1899＝17歳：{小国民}に「天長節の記」が掲載されるなどして，

ピアノ国産化・1900＝18歳：

田中正造直訴1901＝19歳：改称された広島県立第一中学校を卒業して，京都の第三高等学校に入学。

－

1904＝22歳：卒業して，東京帝大英文科に進み，夏目漱石の講義を受けるが，

日露戦争終・1905＝23歳：神経衰弱のため休学して，瀬戸内海の能美島で保養，

満鉄発足・・1906＝24歳：この間に着想した「千鳥」を漱石に送って推薦され，{ホトトギス}に掲載されると，上京して漱石宅に親しく出入りするようになり，木曜会を提案。高浜虚子・森田草平・寺田寅彦・小宮豊隆らと親しくなる。

韓国反日暴動1907＝25歳：*「山彦」に続き，「千代紙」を刊行して注目を引く。

アヲヲ創刊・1908＝26歳：父が死去。卒業後，成田中学の教頭として赴任，英語を担当する。

伊藤博文暗殺1909＝27歳：

韓国併合・・1910＝28歳：{国民新聞}に長編「小鳥の巣」を連載，

大逆事件判決1911＝29歳：成田中学を退職して上京，海城中学の講師となる。ふぢと結婚。

明治天皇没・1912＝30歳：創作が活発になり，雑誌への作品掲載や，「返らぬ日」「お三津さん」「小鳥の巣」など，出版相次ぐ。

大正政変・・1913＝31歳：中央大学の講師となる。{国民新聞}に連載の「桑の実」以降，童話への関心を強め，

21ヶ条要求・1915＝33歳：「三重吉全集」の刊行を始め，以後，13巻まで刊行。{中央公論}の「八の馬鹿」以後，小説の執筆をやめ，

民本主義・・1916＝34歳：河上らくとの間に長女すずが誕生。妻ふぢは死去。*処女童話集「湖水の女」を刊行。

ロシア革命・1917＝35歳：「世界童話集」21巻を企画し，刊行開始。

本格政党内閣1918＝36歳：長男が誕生。海城中学を辞職，中央大学を休職。*{赤い鳥}を創刊，主宰。以後，数年にわたって童話雑誌創刊さかんになる。

原敬首相暗殺1921＝39歳：前年に河上らくが死去し，小泉はまと結婚。学習院の馬術教官白極兵治と知合ったことから，荒れた生活と持病の喘息から脱しようと乗馬を始め，深入りして行く。

芥川龍之介，有島武郎，宇野浩二，小川未明らに児童文学の筆をとらせる一方，北原白秋，西条八十，野口雨情の詩の作曲を山田耕筰らに依頼し，坪田稔治らを世に送り出すなど，児童文化の振興に貢献。

馬術大会に出場し障害飛越競技に挑戦するまで上達，

円本時代始・1926＝44歳：「世界童話集」21巻が完結。

金融恐慌・・1927＝45歳：

共産党事件・1928＝46歳：乗馬による少年の精神教育を主旨とした乗馬学校{騎道少年団}を設立。

世界恐慌・・1929＝47歳：{赤い鳥}を休刊。

海軍軍縮条約1930＝48歳：綴り方について全国各地へ講演に出る。

満州事変・・1931＝49歳：{赤い鳥}を復刊。

芥川直木賞始1935＝53歳：山梨県小淵沢にて避暑し，「綴方読本」を執筆し刊行するが，喘息のため病臥し，

二二六事件・1936＝54歳：肺癌で*没した。{赤い鳥}も廃刊となる。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，脇坂るみ「赤い鳥翔んだ」，